

実績報告書

令和6年3月31日

（宛先）富士市長 様

所在地

日本水治運動療法協会

報告者 団体名

静岡支部

代表者

電話番号

令和5年4月1日 付け富福障指令第6号による交付の決定を受けた事業が完了したので、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 交付決定額	160,000円			
2 事業の名称	障害者機能回復訓練支援事業			
3 事業の目的	社会福祉、健康学的社会貢献のため、その活動手段として水治運動療法を活用し、障害者の生活意欲の向上および生活改善を目的とする。さらには機能回復に極めて有効な水治運動療法の研究、開発、普及とそのシステム化の拡充を図る。			
4 事業の内容	○プールリハビリ運動教室（富士市水泳場） ○指導者講習会（富士水泳場） ○新聞ラジオ等のマスコミ媒体を利用した水治運動療法の啓蒙			
5 事業経費	総額	市補助金	自己負担	その他
	1,052,586円	129,000円	923,586円	0円
6 着手日	令和5年4月1日			
7 完了日	令和6年3月31日			
8 添付書類	決算書、事業報告書等の写し			

収 支 報 告 書

日本水治運動療法協会静岡支部

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

【 収 入 】

区 分	金 額 (円)	算 出 根 拠 等
事業参加料		
水曜教室	333,580	県委託事業から（延 400名）
土・日教室	273,000	参加費用 1,000円x300延人数=273,000円
富士市補助金	160,000	
利息	6	
前年度繰越金	316,000	
合 計	1,082,586	

【 支 出 】

区 分	金 額 (円)	摘 要
指導員謝金	396,000	水曜日教室；延人数390名（約16名/回 x 延36回/4クール） ¥600x390名=¥234,000 土・日教室；延人数270名（約9名/回x延32回/4クール） ¥600x270名=¥162,000
指導員交通費	198,000	水曜日教室；¥300x（延人数390名）=¥117,000 土・日教室；¥300x（延人数270名）=¥81,000
ボランティア保険	6,300	
ホームページ作成維持	5,000	維持管理費
水治運動療法士研修		
育成講座・講師謝金	72,000	講師2名 x 2日間（交通費）
講習会テキスト代	10,000	500円x20部
備品・消耗品	53,000	フェイスシールド、セイム
会議費	8,181	
事務費	3,500	事務用品費・通信費
交通費	7,340	東京で開催 プールリハビリ シンポジウム参加
次年度繰越金	323,265	
合 計	1,082,586	

①補助対象経費

指導員交通費++ホームページ作成維持費+備品・消耗品費+事務費
=198,000 円+5,000 円+53,000 円+3,500 円
=259,500 円

②対象経費の 1/2

259,500 円×1/2=129,750 円

→1000 円未満切り捨てのため、129,000 円が交付確定額。

事業報告書

(期間： 令和5年4月～令和6年3月)

- 1 事業活動の名称 障害者機能回復訓練支援事業
- 2 団体名 日本水治運動療法協会静岡支部

3 令和5年度 活動実績

年	月 日	事業の具体的な内容
令和5年	通年度	・プールリハビリ運動教室の実施 (1) 土曜日・日曜日コース 年間34回開催 期間：令和5年4月～令和6年3月、開催場所：富士水泳場 参加クライアント数：延人数 300名 参加指導者：延人数 270名 (2) 水曜日コース 年間37回開催 期間：令和5年4月～令和6年3月、開催場所：富士水泳場 参加クライアント数：延人数 400名 参加指導者：延人数 390名
令和5年	5月30日	NPO法人日本水治運動療法協会理事会（開催地・東京）
令和5年	6月4日	シンポジウムで「富士市における水治運動療法の活動実績」を[]が発表、合わせて富士市民の生徒が水治運動療法の効果を発表し大好評を得た。
令和5年	10月29日	NPO法人プールリハビリ水夢王国の講習会に理事として[]が参加（開催地：埼玉つくばスイミングアカデミー）
令和5年	11月15日	指導者講習会。会場：富士水泳場 富士市内の受講者数 15名、 講師：水治運動療法協会理事長 [] 静岡支部長 []
令和5年	11月29日	静岡新聞に富士市水治運動療法活動・講習会の記事が掲載された
令和6年	1月9日	静岡FM放送 K・MIXに出演、[]から富士市でのプールリハビリ活動とその成果についてのインタビューを受けた。視聴者からの反響も大きかった。